

TOSHIBA

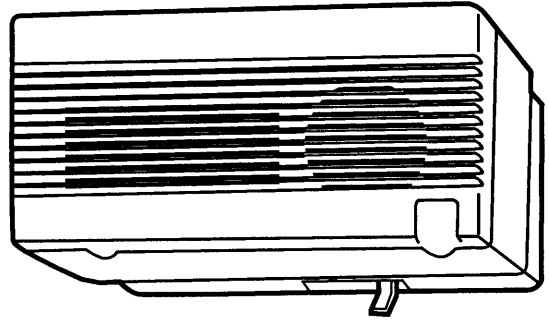
東芝空調換気扇取扱説明書

形 名

VFE-8JDタイプ

VFE-10JDタイプ

VFE-12JDタイプ



も く じ

安全上のご注意	1～2
各部のなまえ	3
取り付けかた	3
使いかた	3～4
仕 様	4
お手入れのしかた	4～6
修理を依頼される前に	7
修理とお取り扱いのご相談は	7

- このたびは東芝空調換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 取付説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、※物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

図記号	図記号の意味
 改造禁止	⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「改造禁止」を示します。
 ブレーカーを切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「ブレーカーを切る」を示します。

警告

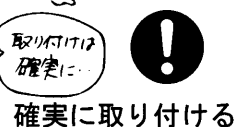
取付・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼すること

取付工事が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によりけがをする原因になります。



取付は、取付説明書に従って確実に行うこと

取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によりけがをする原因になります。



改造はしないこと

火災・感電・けがの原因になります。



修理技術者以外の方は、分解・修理(※)をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。



分解・修理禁止

こげ臭い、煙がでているなど異常のときは、運転を停止し分電盤のブレーカーを切ること

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。

※修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。



ブレーカーを切る

可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気すること

換気扇のスイッチを入れたり切ったりすると、ガス爆発の原因になります。



窓を開ける

⚠ 警告

お手入れのときは、運転を停止し分電盤のブレーカーを切ること

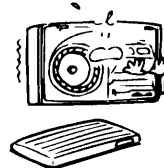
感電・けがの原因になります。



ブレーカーを切る

電気部品に水や洗剤などをかけたり、吹きついたりしないこと

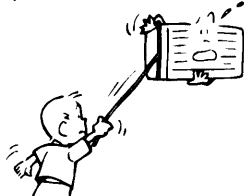
漏電により火災・感電の原因になります。



水かけ禁止

本体カバーの隙間から、棒や針金などを入れないこと

感電・けがの原因になります。



接触禁止

外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設けること

室内の酸欠の原因になります。



排気口より離す

電源は交流100Vを使うこと

交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。



交流100V使用

⚠ 注意

本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付けること

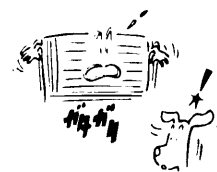
落下により、けがをする原因になります。



確実に取り付ける

異常な振動がするときは使わないこと

本体・部品の落下によりけがをする原因になります。



使用禁止

長期間ご使用にならないときは、分電盤のブレーカーを切ること

絶縁劣化による火災・感電の原因になります。



ブレーカーを切る

直接炎があたる恐れのある場所には取り付けないこと

火災の原因になります。



取付禁止

浴室など湿気の多い所では使わないこと

火災・感電の原因になります。



使用禁止

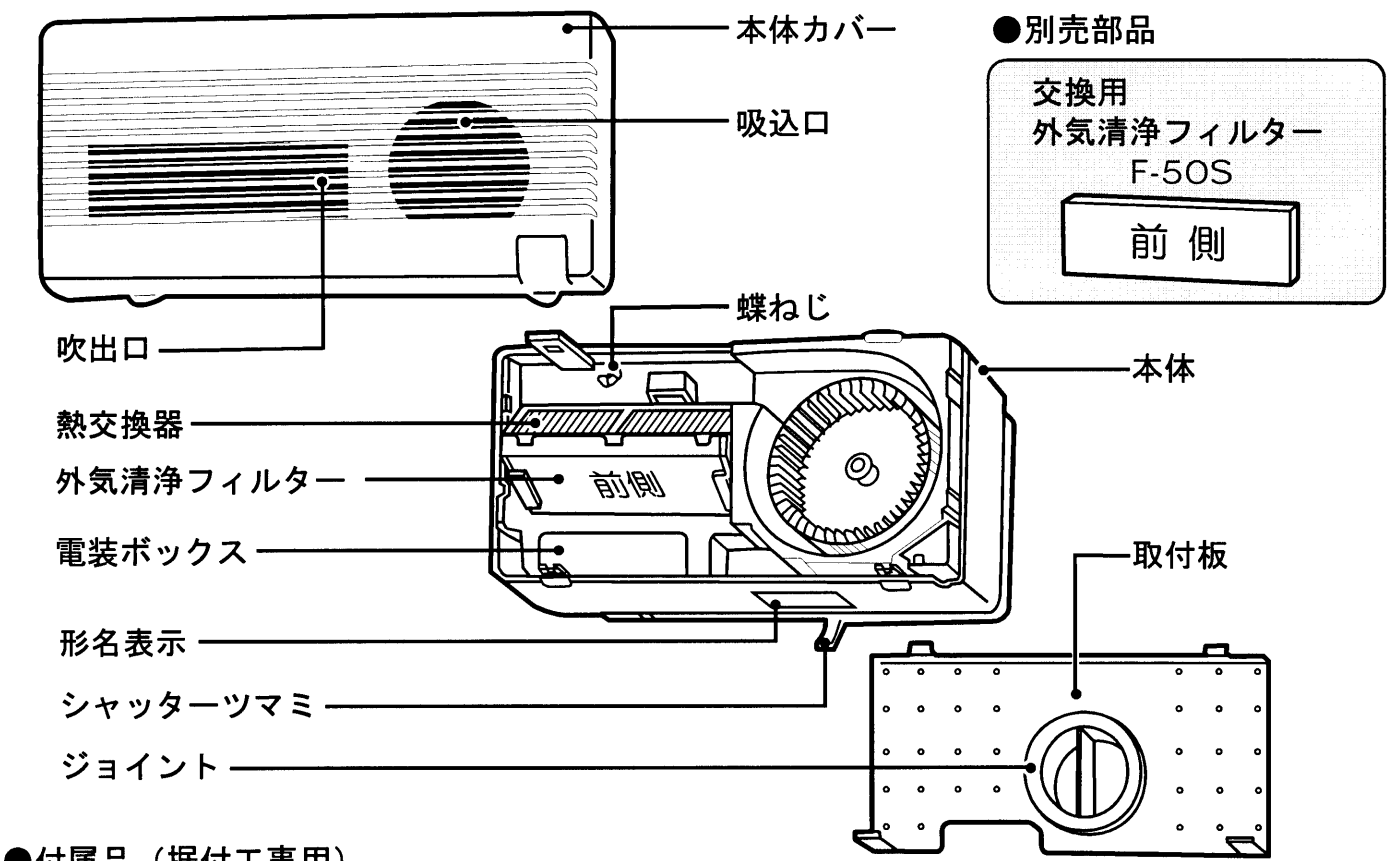
お手入れのときは、ゴム手袋を着用すること

手袋を着用しないとけがの原因になります。



手袋着用

各部のなまえ



●付属品（据付工事用）

部 品 名	個数	形 状	部 品 名	個数	形 状
パイプ	1本		ジョイント	1個	
木ねじ（取付板固定用）	4本				

取り付けかた

取付説明書に記載してある注意事項、取付方法により付属品を利用し取り付けます。
電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。

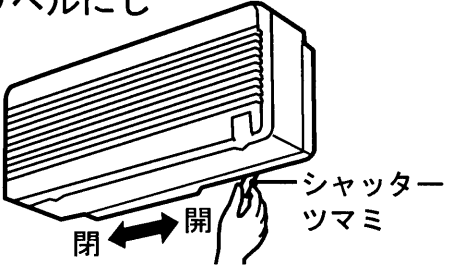
使いかた

建築基準法に定められた機械換気設備としてご使用の場合は運転を止めないでください。
長時間停止した場合、屋内環境が悪化し法律で定める基準をこえることがあります。

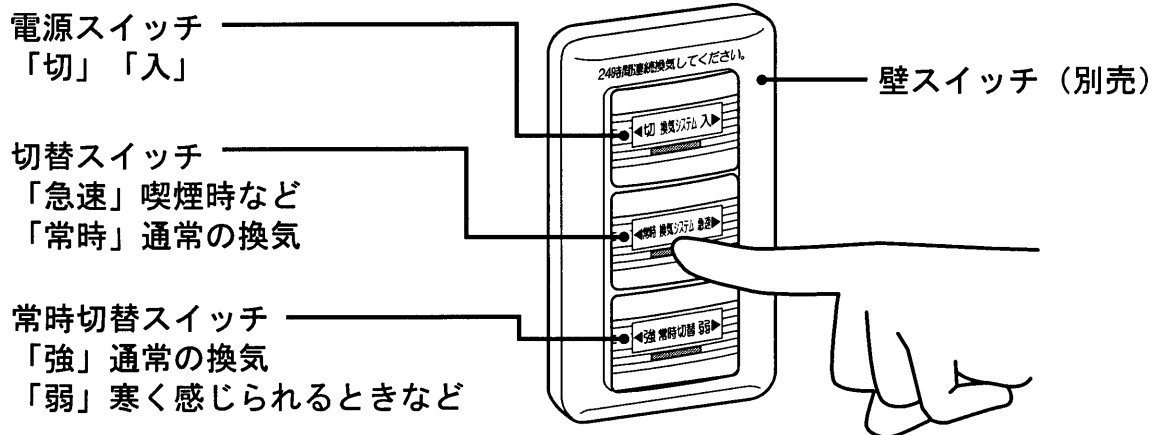
- 1 運転するときは必ずシャッターが「開」になっていることを確認してください。シャッターツマミの操作は本体の表示ラベルにしたがって左右に動かしてください。

お願い

●運転するときは必ずシャッターを開いてください。
（シャッターが閉じていると換気されません）
●風雨の激しいときは、一時的に運転を停止してください。



2 壁スイッチを操作して運転してください。



仕 様

電圧100V(50Hz・60Hz共用)

形 名	定格電圧 (V)	強弱 運転	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	給気風量 (m³/h)	排気風量 (m³/h)	有効換気量 (m³/h)	騒音 (dB)	温度交換効率 (%)	質量 (kg)
VFE-8JD	100	急速	50	26	75	85	34	39	55	4.8
			60	28	80	91	36	40.5	55	
		強	50	10	38	46	20	24	70	
			60	10	36	44	19	23	70	
		弱	50	6.5	26	33	16	17	75	
			60	6.5	24	31	15	16	75	
VFE-10JD	100	急速	50	26	75	85	34	39	55	4.8
			60	28	80	91	36	40.5	55	
		強	50	14	52	62	25	31	65	
			60	15	51	61	25	31	65	
		弱	50	8.5	35	43	19	23	70	
			60	8.5	34	42	19	23	70	
VFE-12JD	100	急速	50	26	75	85	34	39	55	4.8
			60	28	80	91	36	40.5	55	
		強	50	16	58	66	27.5	33	65	
			60	17	57	66	27.5	33	65	
		弱	50	10	39	46	20	24	70	
			60	10	36	44	19	23	70	

※風量値はJIS C 9603チャンバー方式による測定値です。騒音値は当社無響室における測定値です。

※有効換気量はJIS B 8628（減衰法による測定）に基づく。

屋外フード（C-702Rシリーズ、C-703Rシリーズ、C-704Rシリーズ）および専用パイプを組み合わせた場合の値です。

お手入れのしかた

お手入れの前に

- 壁スイッチを「切」にし、分電盤のブレーカーも切ります。
- 手袋をご使用ください。
- 台所用中性洗剤をご使用ください。化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー・アルコール・ベンジン・灯油・ガソリン・みがき粉・アルカリ洗剤は使わないでください。
- 本体真下の床等に新聞紙などを敷くことをおすすめします。お手入れの際にほこりなどが落ちることがあります。

機能低下を防ぐため、熱交換器、外気清浄フィルターのお手入れは定期的に行ってください。



お手入れのしかた（つづき）

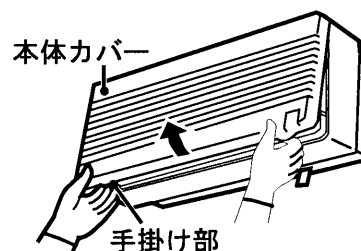
部品のはずしかた

本体カバー

本体カバー下部の手掛け部(2ヶ所)をもって手前に持ち上げるようにしてはずします。

お願い

- 本体カバーをはずす前に必ず電源を切ってください。
内部で羽根が回っているので、けがをする原因になります。

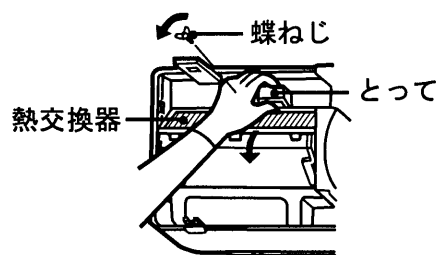


熱交換器

蝶ねじをはずし、とってを持って矢印の方向にまわすようにして手前に引き出します。

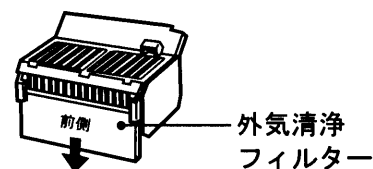
お願い

- 寒冷地では冬期、熱交換器が凍結することがあります。
このときは無理に取り出さないでください。
(掃除は熱交換器前面のほこりをとるだけにしてください。)



外気清浄フィルター

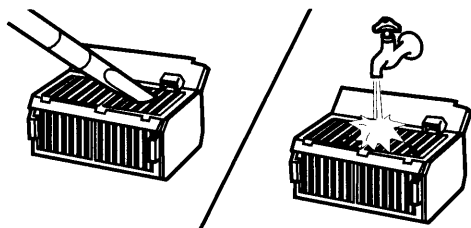
矢印の方向にはずします。



各部の掃除

熱交換器の掃除(3ヶ月に1回以上)

- ほこりを掃除機で吸い取ります。
- 汚れのひどいときは、水洗いしてほこりを落とします。よく乾かしてから取り付けてください。

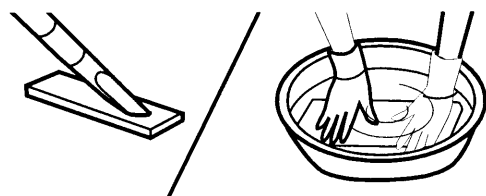


お願い

- 熱湯、薬品、揮発性の溶剤などをかけないでください。
- 落としたり、強い力を加えたりしないでください。
- 乾かすときは、日かげで自然乾燥してください。
- ドライヤー・ストーブの温風など、高温での乾燥はやめてください。(変形の恐れがあります。)
- 火にあぶらないでください。

外気清浄フィルターの掃除(3ヶ月に1回以上)

- ほこりを掃除機で吸い取ります。
- 汚れのひどいときは、水またはぬるま湯に台所用中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水で洗剤を流してからよく乾かします。

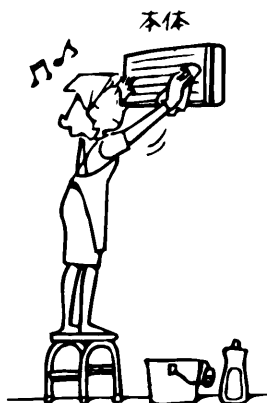


お願い

- もみ洗いはしないでください。
- 乾かすときは、日かげで自然乾燥してください。
- 熱湯や薬品をかけないでください。
- ドライヤー・ストーブの温風など、高温での乾燥はやめてください。
- 火にあぶらないでください。

本体、本体カバーの掃除 (3ヶ月に1回以上)

- 台所用中性洗剤を水またはぬるま湯に溶かした溶液に布を浸かし、固くしぼってから汚れをふきとります。
- 洗剤が残らないよう、きれいな布でふきとってください。



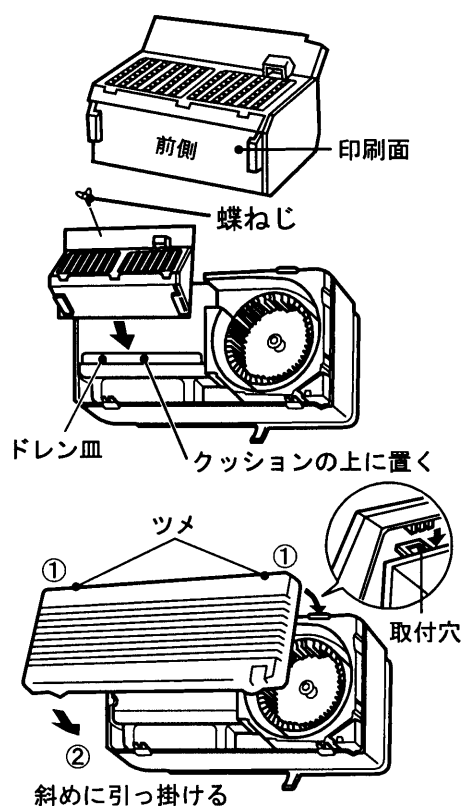
お願い

- 本体・本体カバーは水洗いしないでください。

お手入れ後の組立

はずした逆の順序で組み立てます。

- 1 外気清浄フィルターを熱交換器に取り付けます。
印刷面が「前側」となるよう取り付けてください。
- 2 熱交換器を取り付けます。
ドレン皿のクッション部に置き、本体にはめ込み蝶ねじで固定します。
外気清浄フィルターの付いている方が正面です。
- 3 必ず外気清浄フィルター、熱交換器が取り付けられているのを確認し、本体カバーを取り付けます。
① 本体カバー上部のツメを本体上部の取付穴(2ヶ所)に引掛け
② 下部を押さえてはめ込みます。
本体カバーが確実に取り付けられていることを確認してください。(不完全ですと落下する恐れがあります。)



お願い

- 熱交換器は素子をつぶさないよう、ていねいに取り扱いってください。
熱交換器の素子がつぶれますと、機能低下の原因になります。
- プラスチック部品の掃除にはシンナー、ベンジン、灯油、ガソリン、ベンゾール、アルコール、アルカリ性の合成洗剤などは使用しないでください。変色、変質、破損の原因になります。
- プラスチック部品は、60℃以上の熱湯をかけたり、熱湯に浸したりしないでください。
変形、破損の原因になります。

試運転

お手入れが終わりましたら正常に運転するか、確認してください。

- 羽根は回っていますか。
- 異常な振動・騒音はありませんか。

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現 象	点 検
スイッチを入れても羽根が回転しない。	●ブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に異常音や振動がする。	●換気扇が確実にに取り付いていますか。 ●羽根が確実にに取り付いていますか。

●上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。(有料)

※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

修理とお取り扱いのご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談下さい。**

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター



0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区(北海道、東北、関東、山梨県) 044-543-0220

西日本地区(静岡県、新潟県、沖縄県) 06-6440-4411

電話で

365日

24時間

お応えします

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター



0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048

FAX 03-3425-2101(365日・8:00~20:00受付)

※電話受付：365日・24時間受け付けます。

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

修理を依頼されるときは

出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品 名	空調換気扇
形 名	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問希望日	
便 利 メ モ	お買上げ店名 ☎ () —

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

- 換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅い、または不規則。
- こげ臭いにおいがする。

ご使用
中 止

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社 換気統括部

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川

本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として、
主なプラスチック部材に材料名を表示しています。